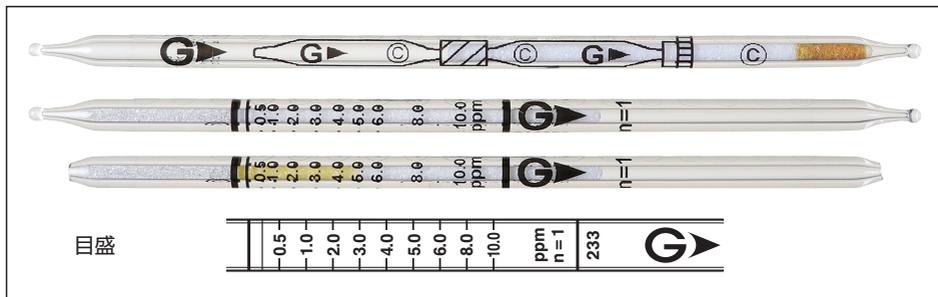


Chloropicrin



仕様 最低目盛 (0.1ppm) は数値の記載が無く、実線のみで印刷してあります。

測定範囲	0.045 ~ 0.1 ppm	(0.1) ~ 10 ppm	10 ~ 22 ppm
吸引回数	2回 (200mL)	1回(基準) (100mL)	1/2回 (50mL)
係数	0.45	1	2.2
測定所要時間	4分	2分	1分

検知限度： 0.03 ppm (2回吸引)

変色： 白色 → 黄色

温・湿度補正： なし

有効期間： 12か月

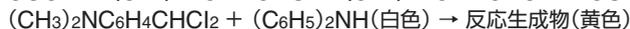
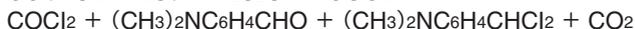
変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 = σ : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

反応原理

クロロピクリンは酸化剤によりホスゲンを生成し、p-ジメチルアミノベンズアルデヒドと反応して中間体を生成し、ジフェニルアミンと反応して黄色を呈する。



干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
アンモニア, シアン化水素	10ppm以上	影響しない	変色しない
二酸化炭素		影響しない	変色しない
一酸化炭素		-	変色しない
エチレンオキシド	2ppm以上	影響しない	変色しない
ホルムアルデヒド		影響しない	変色しない
臭化メチル		+	2ppm以上で黄色に変色
ホスフィン, フッ化スルフリル		影響しない	変色しない
1,2-ジクロロエタン		影響しない	変色しない
ベンゼン, トルエン		影響しない	変色しない

校正用ガス

ガス拡散管法